

# 交通事故対策のための地区検討会 (第2回 国道188号 岩国市 通津交差点整備検討会)

## 1. 主旨

当該交差点は、交差角が鋭角となっています。また、右折レーンがないことから、右折車両がセンターラインを逸脱して停車しており、さらに急カーブ区間で視距が悪いため、追突事故等が発生しやすい要因が多い交差点です。

また、隣接する工業団地への通勤に利用されるなど、地域住民の関わりが深く、その安全対策について早期の整備が強く求められています。

こうしたことから、国土交通省山口河川国道事務所では、より生活実感を反映した交通安全対策を立案、展開するため、道路利用者(地域の方々)、交通管理者(警察)、道路管理者(国・市)の三者による意見交換を行う場として、「国道188号通津交差点整備検討会」を設置し、地域参加型の交通安全事業を進めています。



▲右折車が滞留している様子



▲交差点柳井側の下り坂の急カーブの様子

## 2. 第2回検討会の開催(平成22年1月29日(金) 開催)

第2回検討会では、第1回にて頂いたご意見を踏まえて立案した交通安全対策(案)について意見交換を行い、対策案をとりまとめることとしています。

■1月29日(金)の予定	
(1) 第1回地区検討会での意見確認	(13:30~)
(2) 対策検討結果の報告	(13:40~)
(3) 対策案に関する意見交換会	(14:10~)
(4) 対策案のとりまとめ	(14:45~)
(5) 終了	(15:00)
	※( )は概ねの時間

## 3. 検討会メンバー

- コーディネーター：徳山工業高等専門学校准教授
- 地元関係者：自治会代表者等
- 通勤利用者：工業団地関係者
- 運送事業者：トラック協会、バス事業者
- 行政関係者：岩国警察署
- 道路管理者：岩国市、国土交通省

## 4. 開催場所

岩国市通津公民館(岩国市通津 2571-5)  
電話番号(0827)38-1001



## 《参考》 国道188号通津交差点整備検討会(第1回)開催結果

### 第1回地区検討会の概要(平成21年12月4日開催)

第1回の地区検討会では、16名の検討会メンバーにより、現地での点検を行った後、熊野稔・徳山高専准教授のコーディネーターのもと、ワークショップ形式(2つの班)で、課題と対策案に関する意見交換を行いました。



▲現地点検の様子



▲ワークショップ(意見交換)の様子



▲意見発表の様子

### 【主な意見(課題)】

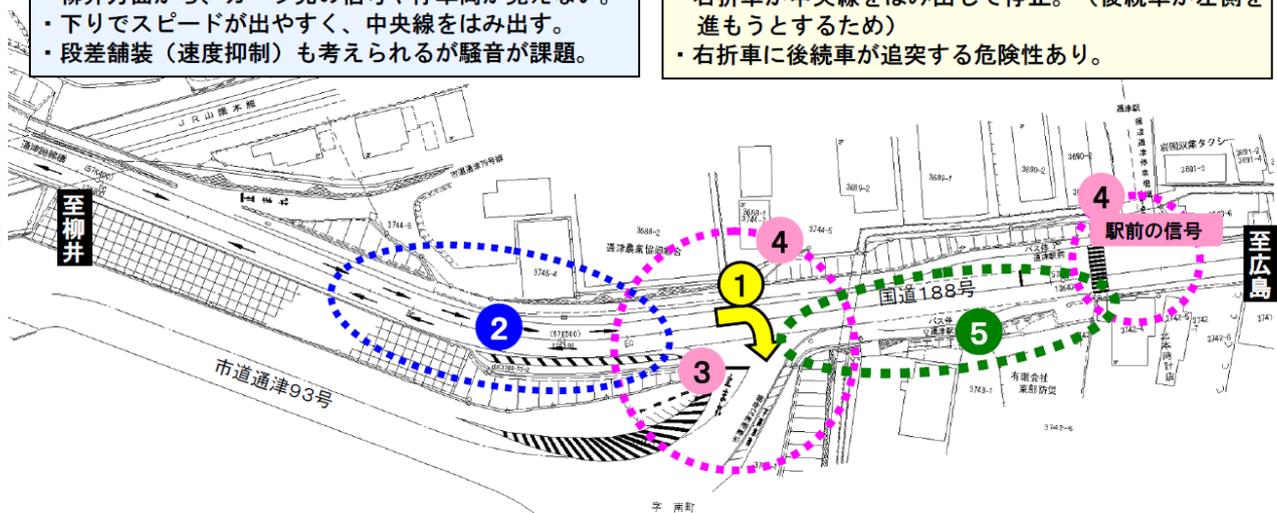
参加者からは、「交差角が鋭角で出入りしにくい」「急カーブ区間で見通しが悪い」などの課題とともに、その対策として、次のような提案をいただきました。

#### ②カーブ区間の線形改良

- ・柳井方面から、カーブ先の信号や停車両が見えない。
- ・下りでスピードが出やすく、中央線をはみ出す。
- ・段差舗装(速度抑制)も考えられるが騒音が課題。

#### ①右折レーンの設置(柳井方面から工業団地方面)

- ・右折車が中央線をはみ出して停止。(後続車が左側を進もうとするため)
- ・右折車に後続車が追突する危険性あり。



#### ③鋭角な交差点角度の改善(T字の交差点に改良)

#### ④信号機の設置(駅前の信号機の移設も含めた調整)

- ・市道から国道左折が鋭角で、大型車は曲がりにくく、中央線をはみ出す。
- ・市道から国道に向け、上り坂となっており、前進しないと左右が確認できない。隣接信号の位置が悪い。

#### ⑤バス停の移動(広島側)と左折レーンの設置

- ・バスが停車していると市道からの車が見えない。
- ・広島方面から市道への左折車が多いが、左折車を避けようと中央線をはみ出す車あり。